

# ベゴニア・センパフローレンス

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

国体：9月29日から10月9日 障スポ：10月13日から10月15日

国体・障スポ／一般

播種

移植

定植

開花

※摘心や切り戻して開花時期や花数は変わります。  
※育成期間は一例となります。花の生育は栽培環境によって異なります。

## 特徴

四季咲き性で花期が大変長く、草丈も低い花である。株姿もきれいにまとまるので、花壇やコンテナ、寄せ植えなどで広く利用されている。

花色は白、ピンク、赤など色彩が豊富で咲き方は一重咲きと八重咲きがある。



原産地 — ブラジル、日本  
科名 — ジュウカイドウ科  
花言葉 — 親切

## 播種

ベゴニアの種は非常に小さく、光を好む性質なので覆土はしません。発芽適温は25℃前後で、気温が十分に高くなってから種を播くようにしましょう。



種子

## 移植

本葉3～4枚の時期を目安に、ポットなどに丁寧に移します。

## 定植

適した土壌：水はけがよく保水性のある土壌  
ポットの底から根が見えるようになったら、植え付けします。  
花壇植えの場合、株間は20～25cm程度が目安です。

## 管理

日当たりがよく風通しの良い場所を好みます。過湿を嫌いますので乾燥気味に管理し、水やりは土の表面が乾いたらたっぷり与えましょう。また葉の表面がぴかぴかと光沢を持ってくる頃合いも水やりの目安となります。真夏の強い日差しに弱いので注意しましょう。花つきを良くするため、定植後は月に一回程度、少量の固形肥料を与えましょう。